

## ■ 映画のねらい ■

家族に恵まれ、仕事も順調と順風満帆な人生を歩んできた会社員平田が、仕事の帰りにふとした気の緩みから飲酒運転をし、死亡事故を起こしてしまう。被害者が近所の顔見知りであり、また、次の日に得意先に直行するため会社の車を運転しての事故であったため、地域、勤務先をも巻き込み波紋が広がっていく。このドラマでは、本人のみならず、一緒に飲酒をした友人や飲食店の店主など周辺者の責任も描き、飲酒運転は絶対にしてはならない、させてはならない、許されない犯罪であると訴える。

## ■ あらすじ ■

会社のホープとして期待され、家族にも恵まれ幸せいっぱい会社員平田哲也、思い切って30年ローンを組み、家を新築した。

或る時、市役所に勤める親しい友人西川から、海外研修に出ると電話があり、祝杯をあげることにした。次の日は朝から得意先に出かけなければならず、普段営業に使っている会社の車に乗り、途中、駅で彼を乗せ、平田の後輩浅井が経営する飲食店の駐車場で車を止める。最初は運転代行を頼むつもりでいたが、酒がすすむにつれその場の雰囲気にも流され、運転代行のことはすっかり頭から消えていた。

西川に駅まで車で送ってくれるように頼まれ、彼を送った後、家に向かう途中、交差点の赤信号を見落とし、通行の若い女性を轢いてしまう。女性は近所の顔見知り数日後に死亡してしまう。平田の家族は近所の人たちの冷たい視線に晒され、また社用車で事故を起こしたため、会社にも社会的、経済的に迷惑をかけたことで、平田は懲戒解雇となる。

やがて、周囲の非難に耐えきれず妻は子供を連れ、家を出てしまう。

平田は自動車運転過失致死罪と道交法の併合罪に、西川は要求依頼同乗罪に、店主の浅井は酒類提供罪にそれぞれ問われたが、浅井が起訴猶予になった他は、西川に執行猶予付きの判決、平田には厳しい実刑判決が下された。

その後、遺族は3人を民事裁判で訴えた。

この事故は単に加害者被害者のみならず、多くの人を呑み込んでいった。

※字幕版を視聴される方は、メニュー画面より選択してください。



DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生して下さい。

★著作権に関するご注意 このディスクを無断で複製、改変、放送、有料上映することは著作権法で禁止されています。

企画・制作：新生映画株式会社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20 パラシオン渋谷 403 SEDV-127W MADE IN JAPAN



改正道路交通法に準拠

推薦 (財) 全日本交通安全協会

飲酒運転の加害者、そしてその周辺者の責任をも描く

飲酒運転  
許されない犯罪

# 飲酒運転 許されない犯罪



出演：布川敏和 他

法令指導

弁護士 千葉 博



企画・制作 ■ 新生映画株式会社

SEDV-127W